

RS:RACING EV07

© NEILPRYDE



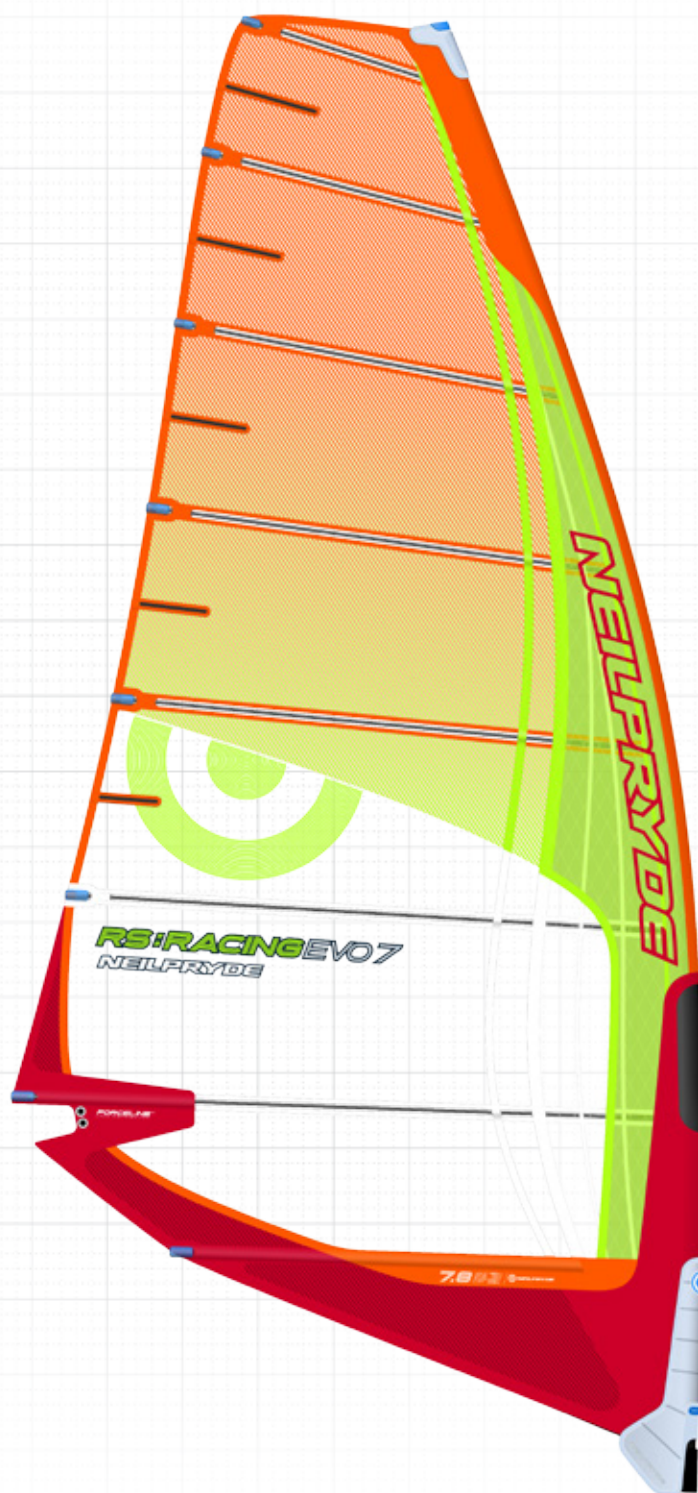
RS:RACING EV07

妥協なくスピードを探究し続けるニールプライドの新たなステージへようこそ。

まったく新しくなった EVO7 は、息をのむような推進力を持つ最先端のデザインです。反応力が高いリーチ中央部分がシェイプをコントロールし、優れた加速を生みます。他にはない最先端のデザインと特徴を持つので、他社がこの先真似をするでしょう。スピード記録を破る RS:レーシングのプログラムが、新たなスリルを持つパフォーマンスをセイラーにお届けします。

What's New

- 広いラフスリーブにサポートされたリーディングエッジに丸みをつけ面積を広くし、より高いドライブ力と安定性を供給
- チューブ・カーボンバテンが挿入されている反応力の高いリーチ中央によって、よりパワーをコントロールしやすく、また加速をアップ
- オープンタイプの内蔵型コンパクトクリューをすべてのサイズに採用。ハンドリングと安定性、使用風域が向上しました
- カムのないリーディングエッジ上部をスムーズに動かすミニカーボンバテン



Size	Luff	Boom	Base	Battens	Cams	Weight	Ideal Mast	Code
5.8	TBC	TBC	TBC	8	4	TBC	400	BNPRE758
6.4	451	196	22	8	4	5.58	430	BNPRE764
7.0	472	207	12	8	4	5.73	460	BNPRE770
7.8	492	217	32	8	4	6.04	460	BNPRE778
8.6	513	229	24	8	4	6.35	490	BNPRE786
9.2	528	236	8	8	4	6.45	520	BNPRE792
9.6	534	242	14	8	4	6.6	520	BNPRE796
10.0	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	BNPRE700
11.0	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	BNPRE711
12.2	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	TBC	BNPRE712

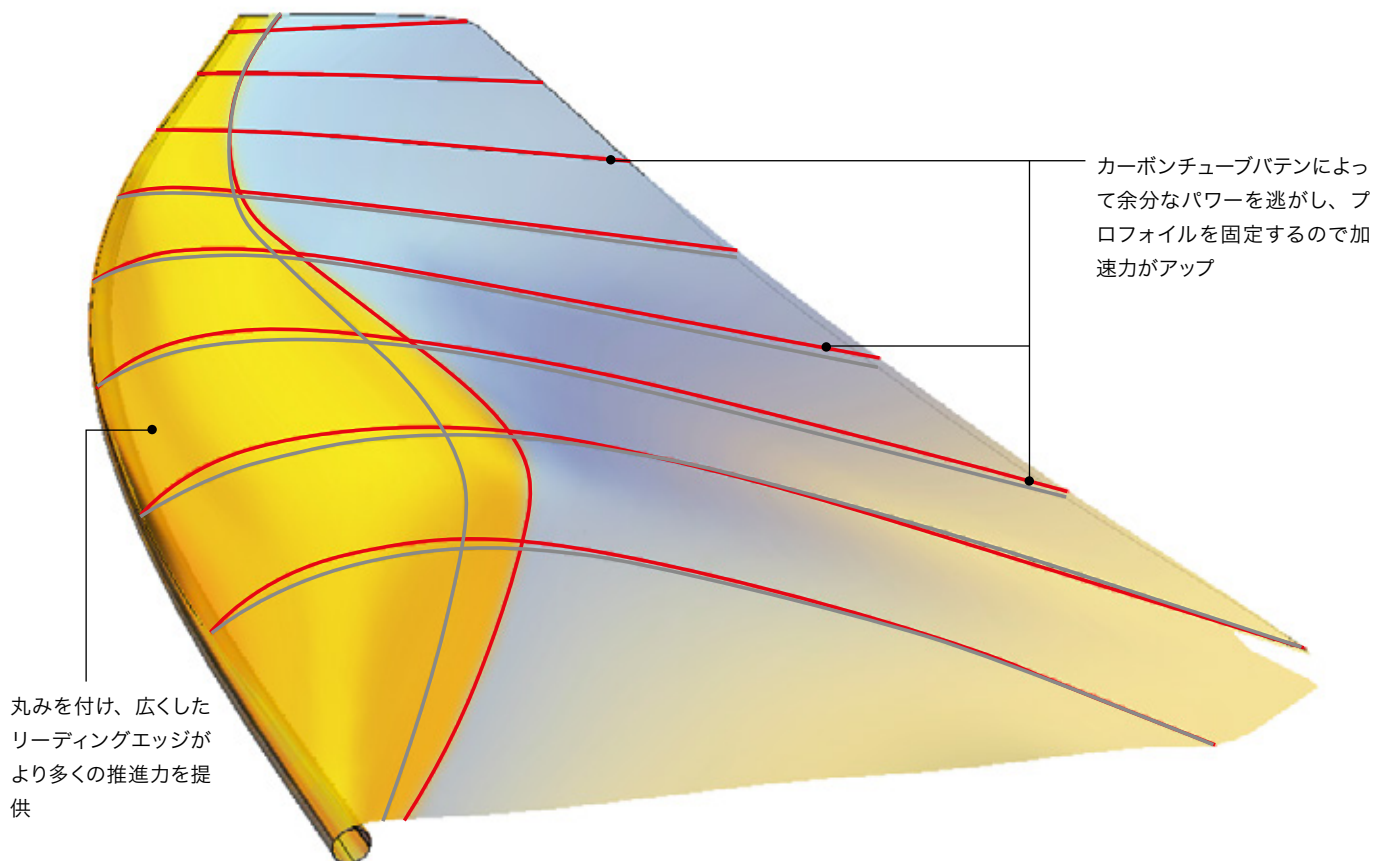
HIGHLIGHTS

ドライブ力と安定性

EVO7 ではセイルのトップエンド・パフォーマンスに焦点を当て、リーディングエッジを改良したデザインとしました。広いラフスリーブによってサポートされたリーディングエッジではカーブを大きくつけ、空気力学にのっとり前に向かう推進力と加速をさらにアップさせました。ラフスリーブは 20% 広くなったので（ブーム取付け位置付近で）、今まで以上にかっちりとしたセイルになり、プロフォイルは固定され、安定性がアップしました。このセイルシェイプは、リワード側の空気の流れをスムーズに整えながら空気を多く流すので、推進力がアップしてもドラッグを最小限に抑えます。

コントロール性と加速力

ブーム上に設置した 2 本のカーボンチューブバテンが、リーチ中央部分の余分なパワーを逃がします。この反応力が高いリーチ中央部分は、ドラフトが後ろに移動するのを防ぎ、余分な推進力を逃がす働きをします。カーボンバテンを使うことで、重量を増やさずに最高の硬さを手に入れることができ、リーチの反応力もアップしたのです。このパワーを逃がすシステムによって、新しいセイルプロフォイルによって生み出された多くのパワーをセイラーはコントロールすることができ、セイルシェイプが保たれるので、結果として加速が増すのです。



— RS:RACING EVO6
— RS:RACING EVO7

クアッドループルのラフパネル・レイアウト

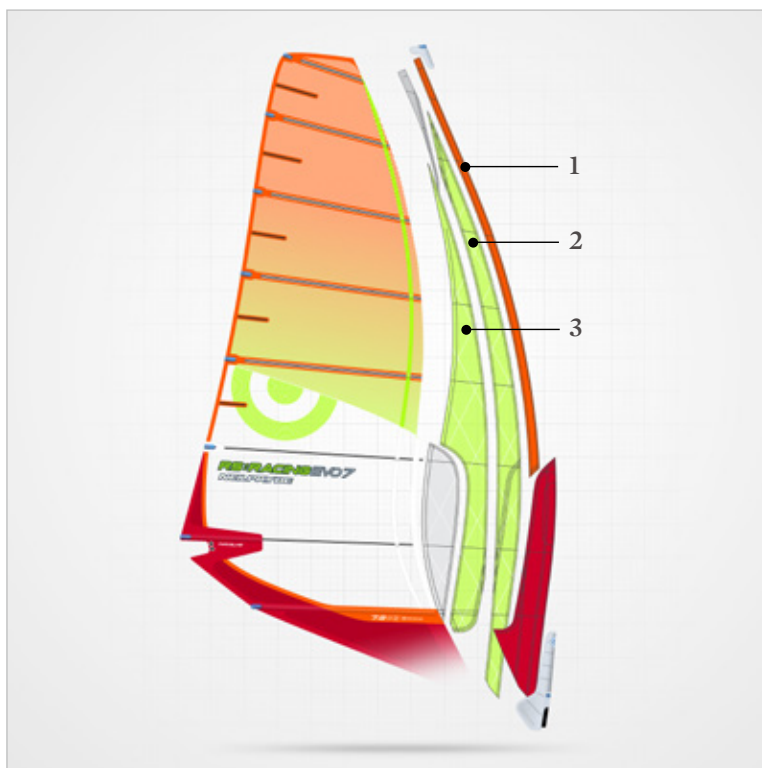
EVO7の大きな特徴としては、セイルボディのシェイプをしっかりと保つ4層の継ぎ目のないラフパネルを採用したことです。この構造により、ドラフトがセイルの必要部分にしっかりと固定され、一方で軽量でありながらダウンホールの加重を分散し、厚みのあるモノフィルムを多く使っても伸びないつくりとなりました。継ぎ目のないパネル上に、特に加重がかかるリーディングエッジの部分には水平方向に一切縫い目を入れず、強度をアップすると同時にセイルの反応力を高めました。この非常に安定性が高いリーディングエッジの構造によって十分にダウンテンションをかけることができるようになったので、クリアポケットの構造を取り入れることができるようになったのです。



スリーブパーツの構造

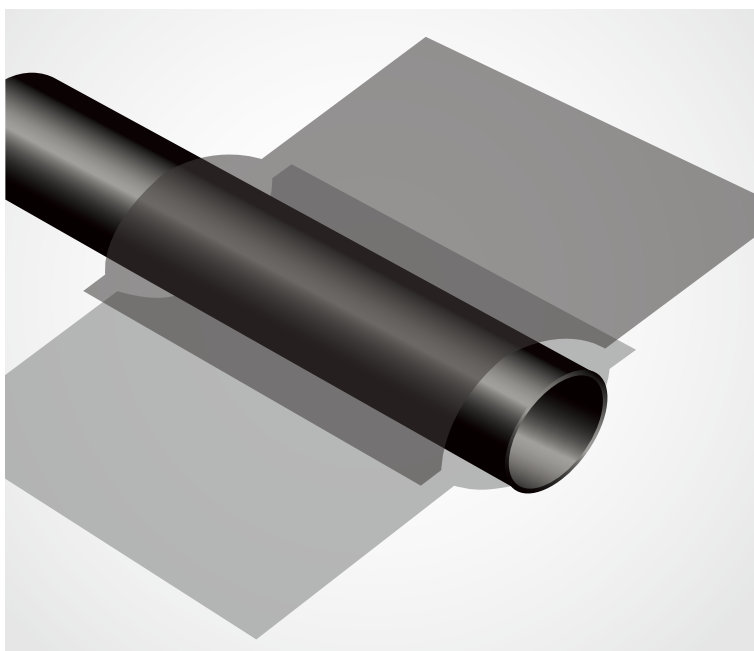
EVO7のスリーブには特徴が異なる異素材を組み合わせ、ローテーション性と軽量化の向上、最高のエントリープロファイルの安定性と柔軟性を実現しました。

マストにダイレクトに接触する部分である前方上部(1)は軽量の編込み素材を使い、必要な柔軟性と強度をもたせました。このパネルの後ろはダウンホールテンションが多くかかるので、ストレッチ性が低いダイニーマ・アーマーウェブ(2)を取り入れ、プロファイルエントリーの安定性とウルトラカムのスムーズな動きを助けます。このダイニーマ・パネルとセイルボディの間には、ダイニーマ糸(3)を取り入れた引き裂けに強く、軽量のフィルム/タフタのパーツがあります。フィルムが伸びを調節し、ダイニーマが引き裂けに強い構造を、タフタがステッチをつなぎとめます。スリーブ下部は他のニールプライドセイルと同じようにラフグライド素材を使った仕上げ。この素材はマストに対する摩擦が少なく(ローテーションのために必須な要素)、非常に丈夫でありながら、セイルボトムに必要な柔軟性を与えています。



クリアポケットのバテンスリーブ

別パーツを縫い付ける従来のバテンポケットの代わりに、EVO7 ではボディパネルを重ねるようにしてバテンのスリーブを作っています。これによって今まで以上に軽量化を進め、シンプルな構造に仕上がりました。さらに重要なこととして、クリアポケットはバテンのために完全に対称なスペースをつくり出すので、従来のポケットにあったようなタックによる加重の誤差が起きません。従来のバテンポケットはセイルの片タックに縫い付けられているので、ウィンドワード側とリワード側でセイルボディの深さが変わる場合があります。クリアポケットはセイルパネルの中央位置、バテンを効果的に使うことができる位置に配置することが可能なので、この問題を解決できるのです。



フォースライン

EVO7 のクリュー部分にはラミネートされたケブラー・フォースラインパネルが採用され、カスタム・ラミネートのケブラー・フォースラインパネルは加重を分散させる働きがあります。かかった加重はセイルボディに直にラミネートされたケブラーの糸に分散されます。ケブラーはグロメット部分から放射線状に広がり、パネルの継ぎ目まで途切れることなく行き渡っています。加重を最大限に分散するだけでなく、軽量でありながら強度のある構造をつくり出すと同時に、従来のセイルパッチに存在していたエアポケットを排除する役割も果たします。

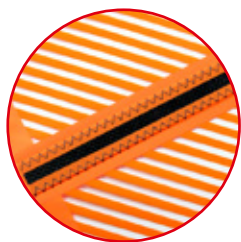


FEATURES



ミニ・バットカム

流線型で軽量化されたカムで
リーチ上部の重要な部分に採用



カーボンリーチ・ミニバテン

最大に軽量化を進めながら最
高のサポート力を発揮



一体化された オープンタイプのコンパクトクリュー

クリューのカットアウトをなくし、ブー
ムエンドの後ろからセイルリーチが
フットまで伸びるデザインです。これ
により、ハンドリングと安定性、使
用風域が向上します



丈夫なクリューアイメット

チューニングの幅を広げます。



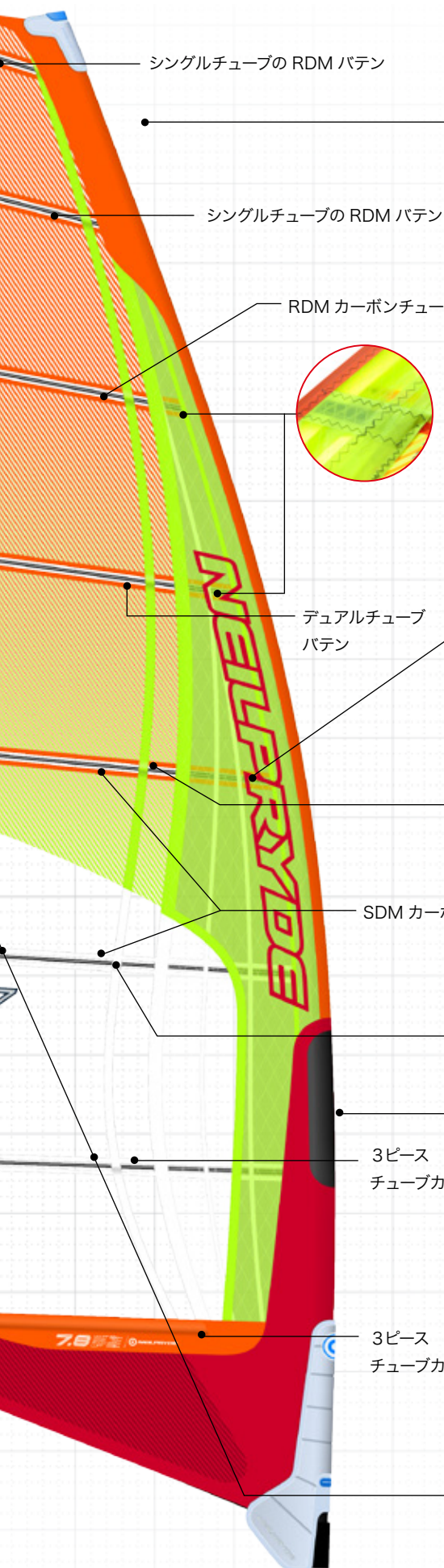
クリューバテン

クリューをサポートし、
加重を分散させます。

バットカム・ ネジ調節システム

簡単に正確にテンションを
かけることができます。

RS:RACING EVO7
NEIL PRYDE



ダイナミックなラフスリーブのシェイプ

- A. プロフォイルがもっとも深くなるダブルサーフェイスのリーディングエッジの部分（セイラーの前部分）を幅広にし、この重要な部分にドラフトを固定するのを助けます。
- B. ヘッドのダブルラフの部分の幅を狭くすることで、セイルは今までより弱い加重でもスムーズにツイストします。これによってリーチのテンションが減少。

RDM カーボンチューブパテン

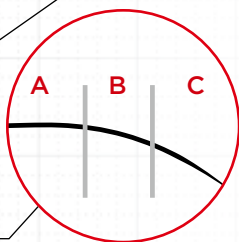


ミニカーボンパテン

NEW

NEW

デュアルチューブパテン



3ピースのカムパテン

スムーズで軽量、安定したセイルプロフォイルをつくる3ピースパテンを採用。

- A. カーボン/ファイバーグラスチューブ：もっとも硬い部分
- B. 中空の中央部分：中間の硬さ
- C. 精密な CNC テイバーパテン：変化をもたらす硬さ

SDM カーボンチューブパテン

NEW

3ピース
チューブカムパテン

3ピース
チューブカムパテン



ウルトラカム

サスペンション機能のあるキャンバーシステムで、画期的にセイルローテーションを促し、ジャイブ後立ち上がりの加速をアップさせます。パテンとキャンバーを同時にチューニングできるので、セイルのチューニングが簡単にできます。



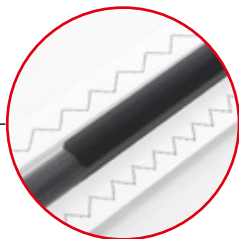
ケブラー・パテンブリッジ

高いダウンホールテンションがパテンを横切り分散されます。



航空力学的に優れたブーム・カットアウト

マストスリーブに風が分かれて流れ込むのを防ぎ、ドラッグを抑えます。



パテン摩擦防止プロテクター

擦り切れを防ぐ PU プリントを施し、セッティングやブーム取付け時にパテンを守る働きをします。

RIGGING INSTRUCTIONS

ダウンホール - レーシングセイルの場合、もっとも正確にセッティングしなければならない箇所、スピードとコントロール性が生まれる部分でもあります。ニールプライド・デザインセンターでは、チューニングを始めるためのスタート点となる、正しいスペックを得るため、多くの時間を費やしています。ダウンホールは個人の好みによって引き方が左右されますが、まずはミニマムと考え、表示されているスペック通りにマストやベースをセッティングします。セイルにあるプーリーとベースにあるプーリーの間はおおよそ1cmほどとなるセッティングです。ダウンホールテンションをかけているとき、リーチを持ち上げ、マストを地面から離してセイルのツイストを見ます。ブームからセイルトップまでがしっかりと落ち、上2-3本バテンのバテンエンドがしっかりと見えない状態が好ましいセッティングです。

トップレーサーの何人かは常にとてもパワーアップしたセイルを使いたいの、もう少し強めにダウンホールを引きます。しかしここで紹介したのは、微風から強風まで、すべてのコンディションに向けたセッティングで、最速のスピードを得たいと思うのであれば、セイルにツイストを持たせましょう。

アウトホール - アウトホールにはカニンガムシステムをつけることを強くお勧めします。風のコンディションによって、希望通りにチューニングができるからです。セイルに記載してある推奨セッティングよりブームは1目盛り長くします。これによってチューニングの幅が広がり、セイルを外側に引くのでカムローテーションとドラフトのローテーションが良くなります。セイルがフルパワーになったとき、セイルとブームが少し付く程度が理想的なセッティングです。

風が弱くなったとき、セイルがブームやハーネスラインに触れるまでダウンホールを緩めても大丈夫です。

風が強くなってもアウトホールを引きすぎないようにしましょう。アウトホールを引き過ぎると、パワーがなくなり、とてもくるくると動く扱いにくいセイルとなります。この失われたパワーはボードへのドライブを損なうことにつながり、さらにコントロールしにくくなります。

バテンテンション - バテンテンションはセイルの安定性とカムローテーションにダイレクトに影響します。ですから、あなたに適したバランスを見つけましょう。

安定性を最大に高めるため、下2本のバテンにもっともテンションをかけます。これら下部のバテンにはバットカム・ネジ調節システムを採用し、バットカムを開くことなく六角レンチを使って細かく高いテンションをかけることができます。その上のバテンにも高いテンションが必要ですが、下2本のバテンほど強いテンションは必要ありません。下から4本目のバテンはバテンポケットのシワを取る程度にテンションをかけてください。残りの上部バテンはバットカムがカチッとしまるまでテンションをかけましょう。これらのバテンには注意が必要です。テンションをかけすぎてセイルシェイプを強くしないよう、注意してください。

セイルボディ全体からシワをなくすことに神経質にならないでください。バテンを見る代わりに、リーディングエッジからリーチまでがフラットであり、上から押してもバテンが動かずシェイプに変化がないことを確認してください。

タックストラップ - タックストラップのテンションはセイルの安定性とカムローテーションにダイレクトに影響し、またセイルの柔軟性とも関連があります。風が弱い時は適宜タックストラップのテンションをかけます。一般的にいうと、これに当たるのは、7.0以上の大きなサイズのセイルやフラットなコンディションで使う場合です。6.4以下の小さいサイズのセイルはタックストラップのテンションを弱めにかけると、セイルがソフトになり乗りやすくなりますので、ラフ海面で使いやすくなります。タックストラップを閉め過ぎると、カムローテーションが硬くなります。セイラー自身やコンディションに合ったバランスの良い状態を見つけましょう。

レースセイルのチューニングはセイリングスタイルやボード、個人の好み大きく影響します。道具に親しみあなたに合ったセッティングとチューニングを見つけましょう。